

公開シンポジウム

今、復興の力強い歩みを－
災後のエネルギー政策・産業復興を考える

東日本大震災復興支援に向けた
今後の学会活動

日本学術会議 副会長 武市 正人

2012/07/03



東日本大震災復興に向けた活動(1)

21期(～2011年9月) 提言・報告等

- 提言「東日本大震災被災地域の復興に向けて－復興の目標と7つの原則(第二次提言)－」(2012/9/30)
- 提言「東日本大震災から新時代の水産業の復興へ」(2012/9/30)
- 提言「東日本大震災とその後の原発事故の影響から子どもを守るために」(2012/9/27)
- 報告「エネルギー政策の選択肢に係る調査報告書」(2012/9/22)
- 提言「東日本大震災復興における就業支援と産業再生支援」(2012/9/21)
- 提言「日本の未来のエネルギー政策の選択に向けて－電力供給源に係る6つのシナリオ－」(2012/6/27)
- 提言「東日本大震災被災地域の復興に向けて－復興の目標と7つの原則－」(2012/6/4)
- 東京電力福島第一原子力発電所事故に関する日本学術会議から海外アカデミーへの現状報告(2012/5/2)

21期(～2011年9月) 緊急提言

- 各分野から第一次～第七次緊急提言を発出



東日本大震災復興に向けた活動(2)

21期(~2011年9月) 会長談話・幹事会声明

- 幹事会声明「東日本大震災からの復興と日本学術会議の責務」(2011/9/22)
- 会長談話「66年目の8月15日に際してー「いのちと希望を育む復興」を目指す」(2011/8/15)
- 会長談話「放射線防護の対策を正しく理解するために」(2011/6/17)
- 幹事会声明「東北・関東大震災とその後の原子力発電所事故について」(2011/3/18)

21期(~2011年9月) シンポジウム等

- 緊急講演会「放射線を正しく恐れる」(2011/7/1)
- 公開シンポジウム「フォーラム：東日本大震災による生態系や生物多様性への影響ーどれだけの影響があったのか、回復に向けて何を考えるべきかー」(2011/6/28)
- 学術フォーラム「「災害・復興と男女共同参画」6.11シンポ」(2011/6/11)
- 学術フォーラム「東日本大震災と報道メディア」(2011/5/21)
- 学術フォーラム「東日本大震災からの復興に向けて」(2011/4/26)



東日本大震災復興に向けた活動(3)

22期(2011年10月～)の活動

- 東日本大震災復興支援委員会
- 東日本大震災に係る学術調査検討委員会
- 各分野における活動

東日本大震災復興支援委員会からの提言に関する動画配信 (2012/5/25)

東日本大震災復興支援委員会提言 (2012/4/9)

「学術からの提言—今、復興の力強い歩みを—」

「災害廃棄物の広域処理のあり方について」

東日本大震災復興支援委員会災害に強いまちづくり分科会提言 (2012/4/9)

「二度と津波犠牲者を出さないまちづくり—東北の自然を生かした復興を世界に発信」

東日本大震災復興支援委員会産業振興・就業支援分科会提言 (2012/4/9)

「被災地の求職者支援と復興法人創設—被災者に寄り添う産業振興・就業支援を」

東日本大震災復興支援委員会放射能対策分科会提言 (2012/4/9)

「放射能対策の新たな一步を踏み出すために—事実の科学的探索に基づく行動を」

2012/07/03



東日本大震災復興支援に向けた今後の活動

東日本大震災復興支援委員会のもと に分科会を設置

- 災害に対するレジリエンスの構築
分科会
- 福島復興支援分科会
- エネルギー供給問題検討分科会



災害に対するレジリエンスの構築分科会(1)

- 日本学術会議は、国際アカデミーの一員として2012年5月10日に「G8サミットに向けた共同声明」を発出し総理大臣に手交
- 共同声明では、わが国の今後のあり方に関する「災害に対するレジリエンス(回復力)の構築」を提言
- 災害に対するレジリエンスの強化方策は、東日本大震災の復興とともに、広範な災害への共通基盤に貢献
- 分科会での検討課題
 - 災害に対するレジリエンスの構築に向けた科学的検討による今後の社会のあり方の提言
 - 災害を経験したわが国からレジリエンスの構築に関して国際的に発信



災害に対するレジリエンスの構築分科会(2)

共同声明の内容

1. 継続的なリスク監視と日常的な評価のためのキャパシティービルディング(能力開発)
2. 公衆衛生システムの改善
3. 高度な情報技術(IT)の適用
4. 脆弱性を最小限にするための計画と技術、そして基準の実施
5. 開発援助プログラムへのレジリエンス能力の統合。

分科会では、加えて、

- 人的要素を含むところの回復

等、東日本大震災による経験から得た課題も検討



福島復興支援分科会

- 「東日本大震災復興支援委員会 産業振興・就業支援分科会」では「学術からの提言」(2012/4/9)を発出
 - 被災地の内、岩手県と宮城県の産業振興や就業支援、まちづくりについての政策上の方策提言
 - 福島県では、復興計画策定が遅れ、復興も遅れがち
 - 福島県を支える産業の復興と雇用の確保
- 福島県を取り巻く事情やニーズ等の分析
- 福島県と関連地域の産業振興とまちの復興のあり方を検討
- 分科会での議論
 - 福島県の復興に役立てることを第一の目的
 - 福島県以外における震災への対応状況

エネルギー供給問題検討分科会

- 第21期「東日本大震災対策委員会 エネルギー政策の選択肢分科会」
 - 提言「日本の未来のエネルギー政策の選択に向けて—電力供給源に係る6つのシナリオ—」(2012/6/24)
 - 報告「エネルギー政策の選択肢に係る調査報告書」(2012/9/22)
- 今後は再生可能エネルギーによる供給力増強へ
 - 再生可能エネルギーの実用化に際しての経済性、環境負荷性、外部経済等も含む包括的な検討が不十分
- 分科会での検討
 - 再生可能エネルギーに関する学術的な検討
 - 再生可能エネルギーを核にした地域社会のあり方の考察
 - 技術的な課題克服へ向けた提言



G-Science 2012共同声明

「自然災害および技術的災害に対するレジリエンス(回復力)の構築」概要

災害

- 自然災害

- 地震、地滑り、ハリケーン、洪水、台風、火山噴火、感染症の世界的流行など

- 技術的災害

- ダム・堤防、エネルギー系統、情報ネットワークなど社会的に重要なインフラの偶発的なもしくは人為的な故障や崩壊



G-Science 2012共同声明

「自然災害および技術的災害に対するレジリエンス(回復力)の構築」概要

災害に対するレジリエンス

- システムおよびその構成部分が重大なショックによる影響を適時かつ効率的に予測し、吸収し、対応し、そこから回復できること
- レジリエンス強化による緊急事態時の死傷者の減少、経済的損失の減少、および将来の災害への対応力の構築



G-Science 2012共同声明

「自然災害および技術的災害に対するレジリエンス(回復力)の構築」概要

レジリエンスの構成要素

- 系統的アプローチと多面的ソリューション
 1. 継続的なリスク監視と日常的な評価のための
キャパシティービルディング(能力開発)
 2. 公衆衛生システムの改善
 3. 高度な情報技術(IT)の適用
 4. 脆弱性を最小限にするための計画と技術、そ
して基準の実施
 5. 開発援助プログラムへのレジリエンス能力の
統合

